

整形外科学：骨粗鬆症

41-084 一次性骨粗鬆症で正しいのはどれか。

- ア. 骨量の減少 *骨内のカルシウムの減少による皮質骨の減少*
 - イ. 骨梁の減少 *海綿骨の骨梁の減少 (骨梁=はしけた)*
 - ウ. 血清カルシウム値の上昇
 - エ. 血清リン値の低下
 - オ. 類骨の増加 *… くる病、骨軟化症では増加する。*
1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ
4. ウ、エ 5. エ、オ

当類骨

類骨はカルシウムやリンなどのミネラルが不十分な骨のことで、骨軟化症やくる病で増加する。
原発性骨粗鬆症では増加しない。

42-074 原発性骨粗鬆症で正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1. 発症率は男性の方が高い。 *女性*
- 2. 類骨の割合が増加する。 *しない*
- 3. 海綿骨の骨梁が減少する。
- 4. 血清カルシウム値は低下する。 *正常値*
- 5. 血清アルカリフォスファターゼ値は正常である。

43-080 骨粗鬆症の成因で誤っているのはどれか。

- 1. 閉経 *閉経によって女性ホルモンが減少すると骨吸収が促進される。*
- 2. 慢性腎不全 *腎不全によりビタミンDの活性化が抑制され、腸からのカルシウムの吸収がされにくくなる。*
- 3. 男性ホルモンの投与 *男性ホルモンは骨形成に関与する。*
- 4. 過度のアルコール摂取 *により、腸でのカルシウムの吸収が抑制される。*
- 5. 副腎皮質ホルモンの投与 *→ 骨細胞(特に骨芽細胞)を壊死させる。
ステロイド剤*

46-A-087 原発性骨粗鬆症について正しいのはどれか。

2つ選べ。

- 1. 男性に多い。 *女性*
- 2. 海綿骨の減少を伴う。 *(骨梁がまばらになる。)*
- 3. 喫煙は危険因子である。
- 4. 低カルシウム血症を伴う。 *血中カルシウム値は正常*
- 5. 骨折好発部位は尺骨である。
*上腕骨近位端、橈骨遠位端、
椎骨(T12, L1)、大腿骨頸部*

① 一次性(原発性)骨粗鬆症

加齢によるもの。

閉経後の女性。

骨代謝の低下によるため、血中のイオンやアルカリフォスファターゼは正常である。

② 二次性(症候性)骨粗鬆症

副甲状腺機能亢進症、クッシング症候群、関節リウマチ、慢性腎不全、ステロイド剤の副作用、アルコール多飲などでおこる。